

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	マーケティング戦略論	
科目基礎情報							
科目番号	0207			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	渡辺達朗、原頼利、遠藤明子、田村晃二（2008）『流通論をつかむ』有斐閣。						
担当教員	那須野 育大						
到達目標							
企業を取り巻く流通環境の現状と役割について、理解を深める。 流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用して、個々の事例に関する自分の見解を述べられるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	流通環境の現状と役割について、幅広く説明できる。			流通環境の現状と役割について、その一部を説明できる。		流通環境の現状と役割について、説明できない。	
評価項目2	流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を十分に述べられる。			流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を不十分ながらも述べられる。		流通に関する基本的概念と理論的枠組みを活用しながら、個々の事例に関する自分の見解を述べられない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講の目的は、流通に関する基本的概念と理論的枠組みを習得し、企業を取り巻く流通の進化の方向性を展望することにある。具体的には、流通の構造、小売業、卸売業、流通と公共政策について考察する。 なお、この科目は、自治体で官民連携に関する業務を担当していた教員が、その経験を活かし、経済を構成する「企業・家計・政府」の幅広い観点から、講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、視聴覚教材やグループワークを交えて実施する。						
注意点	本講では、毎回提出する「授業のまとめ」（授業の要約・意見・感想を書いたもの）の内容を重視する。また、受講生の積極的な発言や意見交換を期待する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。評価方法と評価基準は、本試験に準じる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、流通と商業		「マーケティング戦略論」の目的について、理解できる。流通の役割、品揃え形成活動、商業者の意義について、理解できる。		
		2週	流通の機能		需給接合機能、物流機能、補助的機能（流通金融と危険負担）について、理解できる。		
		3週	流通とモーダルシフト		鉄道貨物輸送の現状と課題について、理解できる。		
		4週	流通再編成の動向		流通再編成の状況、再編成を促す要因（ICT進化、流通のグローバル化、消費市場の変化）について、理解できる。		
		5週	小売業の役割と機能		小売業者の業種と業態、小売業における競争プロセスについて、理解できる。		
		6週	小売業の製品開発とブランド・マネジメント		製造業化する小売業、NBとPB、小売事業のブランド化について、理解できる。		
		7週	商業集積と中小小売業		小売業の立地と集積、中小小売業存続のあり方について、理解できる。		
		8週	卸売業の役割と機能		卸売業界における再編成の進展、メーカー・卸・小売の関係の変化、大規模小売への成長売業の意義について、理解できる。		
	2ndQ	9週	卸売業の構造変化		卸売業の停滞、上位集中化、再編について、理解できる。		
		10週	卸売業の機能強化		機能強化の量的側面と質的側面、機能強化の戦略的方向、ロジスティクス、物流業務の受託競争、小売本部機能の保管・代替について、理解できる。		
		11週	環境問題への対応		企業の社会的責任（CSR）、流通の外部性、地球温暖化防止と循環型社会形成、法制度の整備、小売業の環境経営について、理解できる。		
		12週	まちづくり政策の展開		まちづくり3法の制定、大規模小売店舗立地法、3法見直しの理念（スプロールの開発からコンパクト・シティへ）、新中心市街地活性化法、都市計画法について、理解できる。		
		13週	流通と公正競争		競争政策と独占禁止法、不公正な取引方法（一般指定と特殊指定）について、理解できる。		
		14週	ビジネス事例研究		経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。		
		15週	期末試験		第1～14回の学習内容		
		16週	成績確認		答案返却、解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	授業のまとめ	グループワーク	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	20	0	0	0	0	50
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20